



# 高齢者医療の未来を担う 茨木市でただ1つの 『在宅療養後方支援病院』

年齢を重ねても前向きで楽しい毎日を送るための「はつらつ長寿」を提唱する藍野病院。現在と予想される将来の社会事情を踏まえた医療体制を整え、地域ぐるみで高齢者医療に携わる杉野院長にお話をうかがった。



医療法人 恒昭会 藍野病院  
杉野 正一 院長

## 高齢者医療の二歩先

### 在宅療養をバックアップし 患者やかかりつけ医の不安を解消

団塊の世代が後期高齢者に達する「2025年問題」まで10年を切り、さらに2055年には4人に1人が75歳以上という超高齢社会が待っている。厚生労働省が唱える地域包括ケアシステムもこの未来を見越して提案された社会システムであり、このシステムでは高齢者の在宅療養がヘラスになっている。しかし現状では在宅療養に対してまだまだ不安に思う方も多だろう。それに対し、藍野病院は茨木市では珍しい『在宅療養後方支援病院』というかたちで地域の安心を担保している。「地域に向けて在宅療養のバックアップ体制の強化を図るべく、2014年に在宅療養後方支援病院の申請をしました。単純に言うとかかりつけ医を通じて、当院に事前登録された在宅療養をされて

いる方や施設入所者が体調を崩された際、当院がいつでも診療や入院を受け付けるというものです。これに合わせて従来の社会福祉士・精神保健福祉士が中心であった地域連携室を、医師や看護師を加えた地域医療連携センターとして機能を拡大。24時間いつでも入院治療を引き受けられる体制が整い、また退院後の在宅復帰支援の機能も果たしています。藍野病院では、平成28年に51床の地域包括ケア病棟を開設。さらに訪問看護ステーションや訪問リハビリテーション事業所を運営している。しかし在宅療養後方支援病院として求められる機能はこれだけではない。高齢者特有のポリパソロジー（多病）に対応できなくては、行き届いたケアができるとは言えない。その点、藍野病院は各種診療科を備えた総合病院であり、さらに各診療科間の垣根が低く連携をとりやすいという伝統がある。これにより1人の高齢者が抱える様々な疾患に同時に対応できるのだ。

## 藍野病院の歴史が強み 精神科を備え認知症や 精神症状にも対応

### 精神科を備え認知症や 精神症状にも対応

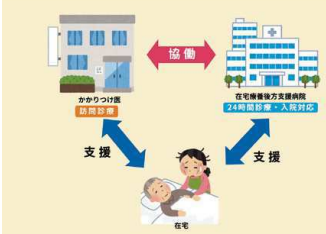
藍野病院は1965年に精神科病院として開設。現在は18の診療科を備える総合病院となった。精神科では認知症も診療しており、身体合併症と合わせてバランスのとれた治療が可能だ。「今は高齢者の4人に1人は認知症と言われています。またADL（日常生活動作）が低下した方は認知症だけでなく、せん妄やうつも陥りやすいのです。体調を崩すことで精神症状を発症することもあり、高齢者医療では精神科も重要な役割を果たします」。



1.地域の診療所や施設、行政と連携し、安心な入退院を支援する地域医療連携センター  
2.高齢者医療の中核病院を目指して「はつらつ長寿」を唱える病院の指針を施策に生かしたバリエーション  
3.人材・組織ともに強化された訪問看護ステーション

在宅療養をされてる方の中には神経難病や膠原病など、難病を患っている患者も少なからずいる。この患者が合併症の急変により救急搬送されても、専門医がいない病院であれば本病の対応ができないため断られることもある。これに対し「私自身が神経内科医であり、当院は茨木市で神経内科医が常勤している数少ない病院。さらにリウマチ・膠原病科も備え、難病患者に「対応しています」とのこと。前述の地域包括ケア病棟のほか、障害者病棟、精神病棟も備え、在宅療養へ戻られる前に必要なりハビリなどの準備期間は地域包括ケア病棟へ、難病患者は障害者病棟など、ケアミックス体制であることも、高齢者医療ならびに在宅療養後方支援病院として適している重要なポイントだ。

## 在宅療養後方支援病院



在宅療養の後方支援は患者、訪問診療をするかかりつけ医、そして藍野病院の3つの共同体。患者情報を共有し、緊急時の迅速な入院を可能にしている

## 多職種専門士による「チーム医療体制」

### 包括的に人を診て 多職種がケアするチーム医療

在宅療養を含む高齢者医療では疾患だけでなくADL、患者の意思、認知機能、栄養状態、住環境、家族の介護負担力などにも目を向けた高齢者総合的機能評価(CGA)に則った治療ケアをしなければならぬ。このためにはリハビリセラピスト、臨床心理士、社会福祉士などコメディカルも含めたチーム医療体制が必要だ。「当院では糖尿病、認知症、パーキンソン病、関節リウマチなど、多分野でのチーム医療体制が整い、成果を挙げています」。この包括的に診る取組みを、在宅高齢者に対する地域連携に活かした「茨木市モデル」は、全国的に注目を集めており、同院はバックアップ病院の役割を担っている。